



発行所  
 北都新聞社  
 本社 社庫  
 〒098-0502  
 名寄市風連町北栄町146-1  
 ☎ 01655-3-3111  
 FAX 01655-3-4031

Eメール  
 ownstyle@lily.ocn.ne.jp

# PCB製品適正に処理

## 名寄市議会 町内会の職員加入82%

【名寄】市議会決算審査特別委員会（高野美枝子委員長）は25日午後、総務費を審査した。

佐久間誠委員（市民連合・凜風会）は、古い蛍光灯などに使われていた有害物質、ポリ塩化ビフェニル（PCB）について、2016年度の処理状況を質問。

抽出調査、図面確認で漏れていたものが15年度に見つかったと説明、「名寄庁舎で確認された蛍光灯の処理を16年度に行った。高濃度PCBは90・9キロ、低濃度PCBはトランスタム5台、コンデンサ1台を適正に処理した」と答えた。

渡辺敏史企画課長は、「市職員の加入率は82%程度。毎年継続して職場会議、職員研修で町内会活動の重要性、加入促進、活動への参加を呼び掛けている。まちづくりの根幹の組織である」と意識啓発を行っていく」と答えた。

東川孝義委員（市政クラブ）は、市職員の町内会加入状況を質問。

塩田昌彦委員（市政クラブ）は、おとし移住住宅の利用実態と今

後の活用を質問。倉澤宏営業戦略課長は「13年度3件7人、14年度10件6人、15年度9件22人、16年度8件15人で、7月から名寄地区市街地で供用し、2件3人。17年度は名寄地区の物件を見直し、利

用料を下げて運用している」と答えた。

山崎真由美委員（市民連合・凜風会）は、国際交流団体への補助金の成果を質問。伊藤慈生交流推進課長は「ドーンスク市との交流は、昨年の訪問団がきっかけで今年、市内中高生の吹奏楽部と交流し、次世代の交流につながった。台湾との交流では、観光協会と連携し、サイクリストの誘致を行った」と答えた。